	テーマ	成長の実	att		
	) – 4	成長の美感   自分の成長を実感することによって、成長を支えてくれた周囲の人たちへの感謝の気持ちを持つ。また、親世代や高齢者とのふれあいをとおし			
	ねらい	自分の成長を実感することによって、成長を支えてくれた周囲の人たらへの感謝の気持ちを持つ。また、親世代や高齢有とのかれめいをとめて			
	指導のポイント		事前	学習・体験	事後
	【感動の体験】		【先生の準備】	私の年表づくり	【子どもたちの予想される心の動き】
	・年表づくりをとおして自分		・教員自身が自尊感情を高める体験をした	・「うれしかった時」「お世話になった人」	・大きくなってきた様子が分かってきた。
	の成長を実感させる。		り、自己再発見の体験をしておく。	等を記入する。	・自分の成長はいろいろな人に支えても
	・自分たちが食べる野菜の栽		・子どもの家庭環境等を把握し、事前事後	・家族から「うれしかった時」「いちばん	らったんだなあ。
	培をとおして、収穫の喜びを		の個別指導を充実させる。	心配した時」を聞いて記入する。	・自分たちで育てた野菜は、おいしいね。
	体験させる。		・家庭や地域との連携の上、学習や体験内	タイムカプセルづくり	・大切に育てたから、大切に食べよう。
	・高齢者の人生経験の豊かさ		容に配慮する。	・「20歳の私への手紙」を書く。	・「いただきます」は「命をいただきます」
	などに気づかせ、尊敬の念を			お世話になった人への手紙	なんだね。
	持たせる。			2分の1成人式	・おじいちゃんはもの知りなんだ。
				・家族を招き、みんなで自分の成長を振り	・おばあちゃんってすごいんだ。
				返り、喜び合う。	
小	【感性を育む】		【教育課程上の位置づけ】	・これからの生活の仕方を考える。	【振り返りカードへの記入】
学	・自分を支えてくれた周りの			ぼく、わたしのいいところ発見	・学習・体験の後に、子どもたちに自分の
	人への感謝の気持	ちを持た	・道徳	・友だちのいいところ、がんばっていると	心の動きを振り返らせ、振り返りカード
校	せる。		・総合的な学習の時間	ころを認め合う。	に記入させる。
中	・野菜の収穫を喜び、「いただ			みんなで祝う誕生日	【日常生活での実践・家庭との連携】
	きます」の意味を考えさせ			野菜等の収穫祭・調理パーティー ・地域の協力を得て野菜の苗の植え付け等	・家庭菜園やプランターを使い、家庭でも
学	る。 ・誕生日をみんなで祝うこと			・地域の協力を待て野菜の田の恒え刊り等しを行う。	野菜を育て、食材として利用する。 ・ふれあい体験をした高齢者へお礼の手
年	によって、一人ひとりのかけ		【子どもたちの準備】	・収穫祭をしながら、その作物の成長の様	・かれのい体験をした同梱有べの礼の子   紙を書く。
•	がえのなさに気づかせる。		・年表づくりの資料集めをする。	子を振り返り、命のつながりについて考	・ノーテレビデーを設定するなどして、家 <b>-</b>
			十代ノくりの資料来のをする。	える。	族との会話を増やす。
	【想像力の育成】			という。 絵本の読み聞かせ	・感謝の気持ちを持って食事を楽しむ機
				・『シリーズいのちの授業』(ポプラ社)	会を持つ。
	・相手のよさを認め、相手の立		【家庭・地域との連携】	・『そだててあそぼう絵本』シリーズ	・地域の老人会等との交流活動を継続す
	場に立ち、思いやりの心を育		・おんぶや抱っこ等のスキンシップを多く	(農文社)	る。
	てる。		してもらう。	高齢者とのふれあい体験	【先生の振り返り】
	・将来の自分の夢を思い描い		・家族に「いちばん心配したとき」の話を	・昔の生活や子どもの頃の暮らし等を聞	・自分の成長に気づき、周囲の人への感謝
	て、自分の人生を生きていこ うとする思いを持たせる。		依頼しておく。	<. □	の気持ちを持たせることができたか。
			・地域の老人会等との交流活動をする。	・一緒に昔の遊びをする。	・たくさんの命をいただいて、自らの命を
				・行事に招いたり、手紙を書いたりする等	つないでいることに対する感謝の気持
				の活動を行う。	ちを育てられたか。
				ゲストティーチャーによる話	・高齢者の人生経験の豊かさなどに気づ
				・食材と生き物との関係を知る。	かせ、尊敬の念を持たせることができた
				・「いただきます」の意味を知る。	か。